

外板用440BH 高張力鋼板及び鋼帯
440MPa bake hardening high strength steel sheet
and strip for outer panel

主 管：車 両 審 査 実 験 部
材 料 開 発 第 一 課
制 定：2009年11月30日
改 正：2014年7月1日

1. 適用範囲

JFEスチール(株)がいすゞ自動車(株)向けに製造する外板用440級BH高張力鋼板及び鋼帯(商品名 **ユニハイテン**)に関して適用する。

2. 適用種類と記号

表1のとおり。表1を外れる板厚の場合はその都度JFEスチール(株)と協議とする。

表1 適用種類と記号

記 号	適 用
JACUN440H	0.6mm以上 0.8mm未満

3. 図面への表示法

JACUN440H-35/35(ISC-C21-014Y)

↑ ↑
本規格記号 合金化溶融亜鉛めっきの目付け量

4. 品質

4.1 化学成分

鋼板の化学成分はとりべ分析により、その値は表2による。

表2 化学成分

単位 wt%

記号	C	Si	Mn	P	S	Cr	B
JACUN440H	0.05 以下	0.1 以下	2.0 以下	0.050 以下	0.050 以下	0.25 以下	0.0005以上 0.01以下

4.2 機械的性質

機械的性質は下表による。

表3 機械的性質

記号	降伏点YP (MPa)	引張強度TS (MPa)	全伸び (%)	BH(*1) (MPa)
JACUN440H	205以上 315以下 目標230~290 YP' (*2)	440以上	28以上 39以下 目標30~37	30以上
JAC440P (参考)	255以上 365以下	440以上	27以上 38以下	—

注 (*1) BHは予歪2%時の降伏応力と、その後170℃ x 20分及び160℃ x 10分の熱処理にて得られる降伏応力（上降伏点応力）の差とする。

(*2) YP' (予歪2%+BH後のYP)のスペックは設定しないが、図1より320MPaを目標下限とする。

TSとYP'の関係

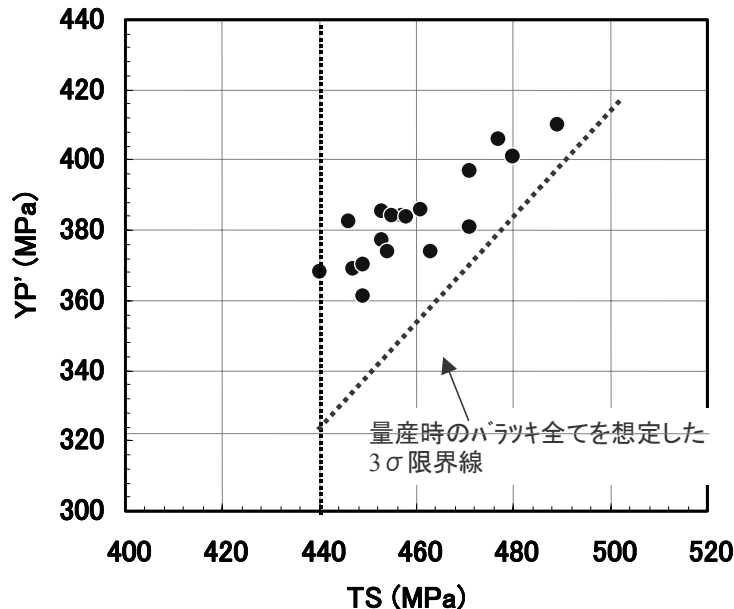


図1 YP'とTSの相関関係

4.3 寸法許容差

ISC-C21-008Yに準拠とする。

4.4 表面及び内部欠陥

表面及び内部には使用上有害な欠陥（傷、溶接つなぎめ、2枚板、へげ等）があってはならない。ただし、鋼帯は一般に検査で欠陥を含む部分を除去する機会がないため、若干の正常でない部分を含むことができる。

4.5 めっき密着性及びパウダリング

鋼板及び鋼帯は、通常の加工において、めっきはく離及び著しいパウダリングが生じてはならない。

5. 試験および報告

5.1 分析試験

分析試料の採り方及び一般事項は、JIS G 0404の8(化学成分)によるものとし、分析方法はJIS G 0320による。

5.2 機械試験の一般事項

機械試験の一般事項は、JIS G 0404の7(一般要求)及び9(機械的性質)による。ただし、供試材の採り方はJIS G 0404の7.6(試験片採取条件及び試験片)のA類とし、試験片の数及び採取位置は次による。

(1) 引張試験片の数

試験片の数は、同一溶鋼に属し同一厚さのものを一括して一組とし、それぞれ1個採取する。

ただし、一組の質量が50tを超えるときはそれぞれ2個採取する。

(2) 引張試験片の採取位置及び方向

試験片の中心は、幅方向1/4の位置とし、圧延と直角方向に採取する。

5.3 引張試験片

引張試験片はJIS Z 2201の5号試験片による。